

ラジアル耐久レース統一規則書

《安全規則》

〔エンジン〕

- (1) ブローパイホースをサージタンクより解放する場合は、排気量以上のオイルキャッチタンクを装着すること。
- (2) バッテリーターミナルは(+) (-)の両方にテーピングを施す。
- (3) ブレーキ、クラッチ等のリザーバタンクキャップには、テーピングなどの脱落防止措置を施すこと。
- (4) エンジンルーム内に燃料ポンプを装着する場合は、エキゾーストパイプなどの高温部分から遠隔な場所に取り付けをし、火災防止に努めること。
- (5) マフラーを変更する場合必ずサイレンサーを装着すること。

〔車室内〕

- (1) シートはフルバケット、リクライニングバケットに変更が認められる。バケットシートを使用する場合は専用のシートレールを使用し、すべてのボルトが確実に取り付けられていること。
- (2) 確実な方法で取り付けられた4点式以上のシートベルトを装着すること。
- (3) ヘッドライトには飛散防止のテーピングを施す事（最低でも×印になるように）またウinker、テールランプ、ブレーキランプ等は正常に作動し、車外から容易に確認できること。
- (4) フロアマット等、車室内において確実に固定されていないアクセサリ類、およびトランク内の荷物は可能な限り降ろすこと。

〔ボディ〕

- (1) タイヤとボディは、インナーフェンダーも含めていかなる場合でも接触しないこと。
- (2) タイヤがボディからはみ出す場合は、オーバーフェンダーを装着すること。取り付けは容易に脱落しないようリベット等を使用し、タッピングビスは避けること。
- (3) ボンネット、左右ドア、トランク、リヤハッチは確実に開閉すること。
- (4) 軽量化のためにサイドガラス、リヤガラスを変更する場合は、4mm以上の著しく視界を妨げることのない透明の亚克力材を使用すること。フロントガラスを変更する場合は新車時に装着されているものと同じものか、合わせガラスに限り認められる。
コース走行中は、練習走行、予選、決勝を問わず運転席側の窓を全閉にすること。ただし、十分な強度を持つウィンドネットを堅牢な方法で取り付けられている場合はこの限りではない。
- (5) 軽量化のためにボンネットを他の材質に変更する場合は、最低限の強度を確保すること。
- (6) オープンカーは、転倒時にドライバーを保護するだけの強度をもった6点式以上のロールバーを装着すること。取り付け位置は、メインバーが着座したドライバーのヘルメット以上の高さで、かつ、ある程度の隙間をもって装着すること。取り付け方法は、ロールバー取り付け部の裏側に補強版をあて、8mm以上の自動車用ボルト3本以上で固定すること。オープンカー以外の車両もロールバーを装着することが望ましい。

《車両規則》

〔シャーシ〕

モノコックの改造は認めない。ただし、エアロパーツなどモノコックを加工することなく取り付けできるパーツについては認められるが、取り付けは容易に脱落する恐れのない、確実かつ安全な方法であること。

〔それ以外の改造〕

下記のパーツについては、特別規則書に規定されていない限り自由。

- ・サスペンション
- ・ブレーキ

※上記の規則で規定されていない部分の改造については、特別規則に準ずること。

※車両規定については、主催者の指名した競技長の判断をもって最終決定とする。

《耐久レース競技規則》

〔参加車両〕

- (1) 安全規則及び車両規則に準じた車両であること。
- (2) タイヤは市販のラジアルタイヤのみとする。

〔参加資格〕

- (1) レース経験者若しくはレース参戦にふさわしいスキルのある人。
- (2) MAZEサーキット走行経験が3回以上あるドライバーが1名以上いること。

〔車検〕

参加車両は、出走前に必ず主催者による車検を受けなければならない。車両規則に適合しない車両、または車検を受けなかった車両は、その理由に関係なく出走が認められない。

〔ピット作業〕

- (1) ドライバー交代以外の作業を行う場合（給油作業含む）、5分間のピットストップを義務付ける。
- (2) ドライバー交代時に許される作業はハブナット増し締め、ガラス拭きのみとし、運転席以外のドア（バックドア、トランク等）を開けた場合や、ジャッキを使用した場合は作業とみなされる。

〔ピットロード耐久走行規定〕

- (1) ピットイン時
ピットロード進入時、入り口パイロンにて、1時停止、その後ローギアにて徐行でピットに向かう。
ピットにてエンジンをストップの後、シートベルトを外す。
- (2) ピットアウト時
ローギアにて、メインポストまで進み、一時停止、装備チェック後コースインする。

〔給油〕

給油作業が必要な場合は、ガソリン火災に有効な3kg以上の消火器を、常に使用できる状態で持った消火要員を給油作業者の横に配置し、万が一の火災発生に備えること。消火器は各チームで1本以上を用意しなければならない。

給油作業時は、他の作業は一切出来ない。

※1回の給油は、20ℓまで（携行缶1缶）

※給油時は4輪が水平の状態で行うこと。

〔燃料タンクの変更及び改造に伴うハンデキャップ〕

- (1) 燃料タンクを安全タンクに変更した場合、その容量を問わず5分間の遅延スタートとする。
- (2) コレクタータンクの容量は2リットルまでとし、燃料タンクの容量は最大でコレクタータンクを含み80リットルまでとする。
- (3) 燃料タンクの変更は安全タンクのみとしコレクタータンクの取り付けは強度ある隔壁を設ける事。

〔牽引フック〕

- (1) 有効な牽引フックを必ず前後に取り付けること。
- (2) 色は赤又はオレンジに着色しておくこと。
- (3) オープンカーの場合はロールバーにて代用可（赤のマーキングが必要）